



忍・行田公民館だより

第22号



◎全「秋」の季節は、忍・行田公民館だより。本館の歴史を振り返り、思い出を語り合っています。

運営委員会館外研修 東京都・葛飾柴又帝釈天

公民館を利用し



忍・行田公民館館長
栗原 光夫

上の写真は、運営委員会館外研修の時に撮った柴又帝釈天での写真です。二十八名が参加し、寅さん記念館、葛飾柴又帝釈天、防災体験学習「そなエリア東京」に行ってきました。

さて、公民館では公民館認定クラブが二十四クラブあります。内容は四・五頁に掲載されたクラブのほか、吹矢、健康麻雀、健康体操、ヨガ、太極拳、茶道などのクラブがあり、活動しています。また、二・三頁にある五つの学級と十七の講座を開設しています。そのほかにも、公民館には、部屋を利用する人や用事がある人など大勢の人が日々来館しています。中でも特に、クラブで利用する人や学級・講座に参加する人の表情は、みんな生き生きと活気にあふれています。それは一人一人が目標をもち向上心に満ちた気持ちで活動しているからだと思います。見ている我々も元気になります。実は、私も定年退職後に最初に勤務した長野公民館で書道クラブに入りました。今も暇を見つけては筆を握っています。書道を始めたことが、定年退職後の人生を豊かにし、また充実したものになっていると思っています。

掲載されたクラブや講座の中に興味のあるものがありましたら参加してみたいと思います。自分の人生を充実するために公民館を利用していただければ幸いです。

区切り無き年度末に



運営委員長 保泉 欣嗣

慌ただしい年度末も、歳を重ねる毎に格別の思いもなく過ぎ去ります。不甲斐ない自身を恥じます。その中にも、今の社会にはびこる情報の氾濫、スマホやSNSの不確かな告知には注意を払っています。言論と記述の自由は尊いことですが、最近は逸脱した疑わしい事例も散見します。

世界には未だに言論を統制している国家もあります。私たちは自由に物事が言える社会を当たりまえに生きていますが、その上には責任が伴うことも自覚しておかねばなりません。

市民憲章に『きまりを守り 明るいまちを...』と宣言しています。

知識と経験「正しい情報を得て、ゆめゆめにも誤った情報や二セの作り話には気を付けたいです。長期間にわたり、運営委員を務めさせていただきました。今更ながら、委員でありながら何らのお役も出来ずに歳月が過ぎてしまいました。公民館は人との交わりだけでなく、活用場として地域社会に不可欠な役割を担っており、孤立孤独な社会は単に寂しいだけでなく、人心の衰退にも影響を及ぼします。

人と人との繋がり、施設の活用の有効性に鑑みますますのご発展を祈るばかりです。多謝。



忍小家庭教育学級



子ども教室(将棋)



子ども教室(絵画)



忍中家庭教育セミナー



CLASS

学級



ふれあい学級(体操)



幼児学級



ふれあい学級館外研修

群馬県 富岡製糸場(富岡市)



園芸講座



絵手紙講座



切り絵講座

講座

COURSE



子ども英会話講座



ヨガ講座



ゆる体操講座



木目込み人形作り講座



大人の塗り絵講座



チェアエクササイズ講座



クラフトバンドバッグ講座



ちぎり絵講座



料理講座



歴史講座



紙粘土人形作り講座



デコパージュ講座



押し花アート講座



健康書道講座



文化祭

2025 11/8・9 (土)(日)

お茶席

ゼリ=フライ

展示

FESTIVAL



芸能



2025
11/16
(日)



文化

CULTURAL



行田女声合唱団



FD金曜会



みずしろコーラス



コーロ・フィオーレ



ロータス・ウクレレ



ラウナ・アロハ



民踊愛好会



たんぽぽ



オカリナ花音

ダンス



忍・行田公民館文化祭



文化講演会
八月三日(日)

ファイブイズホーム代表取締役社長で商工会議所会頭の細井保雄氏を講師に迎え、「挑戦こそ人生!! 私の生き方と経営戦略」という演題でご講演いただきました。会社のコンセプト(5IS)、経営スタンス(五方よし)、経営戦略、経営者の三つの条件、三つの目的等、熱のこもったお話をされました。社長として全ての情報に目を通し、全ての部署のメンバーとコミュニケーションをし、全ての情報を把握する。指導と委譲を進めるためには自らが把握しなければならぬし命がけであるという強い覚悟が参加者の心に伝わってきました。生き方について学ぶ大変よい機会となりました。

人権教育研修会
八月二十四日(日)



忍・行田地区「人権・同和問題地区別研修会」が開催されました。

講師の木島隆夫氏から「珠玉のことばに学ぶ」と題してご

講演をいただき、積尊の生涯や法句経について詳しく教えていただきました。生活の中で、先入観や固定観念、偏見などによつた偏つた考えをもつのではなく、相手の立場や心の痛みを想像していくことが人権問題の解決には大切であるということをも再認識する貴重な場となりました。

防災倉庫見学会
十一月八日(土)

文化祭の展示発表にあわせて、防災倉庫の見学会・非常食の試食会を開催しました。

市役所危機管理課の久積様から、備蓄品や災害時の心構えなどについての説明を受けた後、アルファ米ドライカレーの試食が用意され、

参加者に味わっていただきました。



防災倉庫見学会

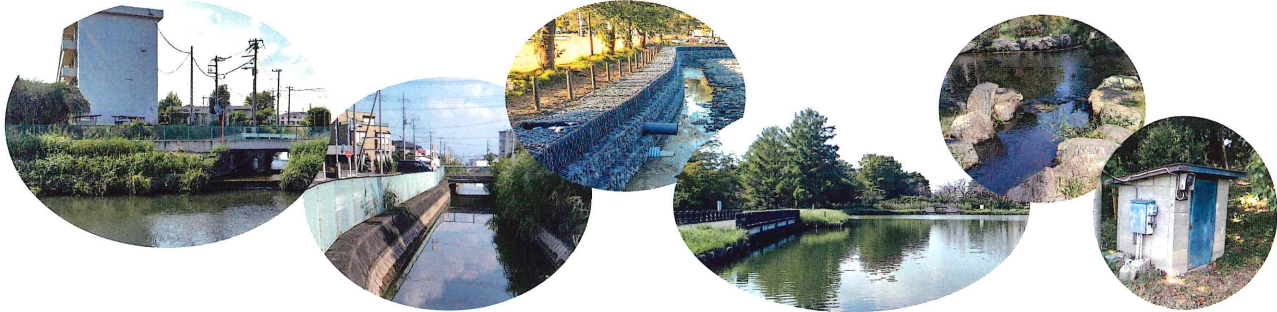


水城公園の水はどこへ!

行田市は一九三七年(昭和十二年)四月一日に北埼玉郡長野村・星河村・持田村が忍町に編入合併し、一九四九年(昭和二十四年)五月三日に忍市として市制施行し、即時改称して行田市となりました。その後二〇〇六年(平成十八年)には旧南河原村が編入され、令和八年五月で市制施行七十七周年を迎えます。

年配の方の中には、昭和三十年頃と呼ばれていた一北谷、二北谷、宮本町、諏訪、荒井田町、成田、大町、大工町などの町名を懐かしむ方も多くいらつしやるかと思ひます。旧地名にはその土地の歴史や由来を今に伝えていきます。そういえば、ヴェールカフェの地区は水城公園ですが、忍・行田公民館は佐間なのです。

先日来館された方からこんな質問をされました。「公園の水は、どこからきているのですか」と。あずまや付近の錦鯉池に流れ込む滝の水は、昔は要害川(満る岡のそばを流れる用水)から流れていましたが、現在は滝の奥にある小屋から井戸水をくみ上げています。この水は、しのぶ池、あおいの池と繋がり、忍沼川として約一km先の行田中学校の東側で忍川の右岸と合流しています。



編集後記

沼のほとり

令和七年(二〇二五年)の夏は「最も暑い夏だった」という報道を目にしました。埼玉県内で猛暑日が観測された日数は、六、八月で計四十九日あり、これまでの平均気温を二・三六度上回っていたとか。

八月三日には、群馬県伊勢崎市で四十一・八度という国内最高気温を記録し、平成三十年七月二十三日に熊谷市が記録した四十一・一度を上回ったといひます。早く秋にならないかと思う連日でした。

ところで、次の単語の共通点は何でしょうか。

- 「落花生」「紫式部」
 - 「七夕」「とうもろこし」
 - 「りんご」「朝顔」
- 答えは表紙に! (E記)

編集委員長 遠藤隆久
編集委員 本城 純
編集委員 小林久江

忍・行田公民館だより (第22号)

令和8年3月1日発行

編集・発行 埼玉県行田市佐間1-22-11 行田市忍・行田公民館
TEL.048-556-8674
FAX.048-553-4950
E-mail osigyoda@tvgn.ne.jp